

第3次自己改革プログラム【R5~R7】

令和7年度

進捗状況報告書



淡路日の出農業協同組合

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 3112-14
TEL : 0799-62-6200
<https://www.ja-awajihinode.com>



ひのりん



「いちひめ」ちゃん



「淡春ナナ」ちゃん



あわりん

JA淡路日の出では、「経済事業改革の実践」「地域農業の持続的発展に向けた取り組み」「経済事業体制・機能の強化」に向け、さまざまな取組みを行っています。

このような取組については、広報誌「さんらいず」やホームページなどで随時お知らせいたします。

お問合せはJA淡路日の出 経済センターまで

統括経済センター	TEL: 62-6200	北淡経済センター	TEL: 82-1235
洲本経済センター	TEL: 22-1122	一宮経済センター	TEL: 85-0180
津名経済センター	TEL: 64-0020	五色経済センター	TEL: 35-0221
東浦淡路経済センター	TEL: 74-3321		

新時代に向けた持続的に発展する農業

基本目標

▶ 経済事業改革の実践

▶ 地域農業の持続的発展に向けた取り組み

▶ 経済事業体制・機能の強化



ひのりん



あわりん



JA 淡路日の出

JA淡路日の出 第3次自己改革プログラム取り組み状況について(令和7年度)

基本方針
新時代に向けた持続的に発展する農業

取り組み項目	具体的な取り組み項目	実施事項	令和7年度に取り組んだ事項	令和7年度達成数値
(1) 経済事業 改革の実践	① 地域の条件に対応した コスト低減・労力削減対策	1) スマート農業の導入及び普及支援 (ラジコン草刈機・農業ICT(情報通信技術)を 活用した農地管理の効率化)	各経済センターで利用促進を図りました。また、定期的なメンテナンスを行 い、ラジコン草刈機の増設を令和8年度に計画しました。	利用件数 130件 (内団体利用件数 50件) 作業時間 880時間
		2) レンタル農機の効果的な更新 運営体制の検証による事業運営の決定	稼働実態を精査した上で、令和8年度の増設を計画しました。 (野菜移植機1台、たまねぎ移植機1台、たまねぎ収穫機1台、たまねぎピッ カー1台、ハンマーナイフモア2台)	レンタル農機利用件数 650件 3,972千円 内 たまねぎ移植機 84件 1,362千円 " 収穫機 24件 215千円 自走式草刈機 106件 810千円
	② 経済事業渉外体制の配置	1) ふれあい訪問活動要領に基づく外務推進体制 の充実	毎月開催する購買担当者会で企画立案・進捗状況の確認を行い、ふれあい 購買キャンペーンを実施しました。	第1弾(5月~6月)実施 目標達成率 106.4% 第2弾(7月~8月)実施 目標達成率 104.1% 自動車センター(5月~6月)実施
		2) 生産購買全般を取り扱う経済渉外を配置	毎月、営農担当者会・購買担当者会を開催し進捗状況の確認を行いました。	たまねぎ・秋冬作野菜予約推進達成率: 92.1% 春肥、水稲肥料・農業予約推進達成率: 100.9%
	③ 販売取扱目標の設定と 進捗管理	1) 季節限定商品「淡の春」の生産拡大と販売促進 進捗管理	協力市場に淡の春の3kg小箱販売を提案し実施しました。 また、市場・量販店を通じてWEB上での販売を実施しました。 神戸中央青果を通じて、販売協力店の食品館アプロの店舗視察と更なるブ ランド化に向けた協議を行いました。 新たな販促資材として、店頭販売時の「PRシール」を作成しました。 令和8年2月に市場巡回を実施し、量販店での周年販売にむけた販促資材 (販売協力店用の盾・チラシ・シール・ネットなど)の提案を行いました。	淡の春3kg小箱販売実績 540ケース 5月27日に食品館アプロの鶴見店、門真店、守口八雲店を視察しました。 販売協力店の認定盾の作成、店頭販売用「PRシール」の作成、販売用3P ネット(ピンク色)を作成しました。 ※令和8年度より活用予定
		2) 業務用米を軸とし、営農組織を対象に 作付け提案及び複数年契約の推進活動	営農相談員を中心に各センターや営農相談係と連携を図り推進活動を行 いました。	業務用米(どんとこい)契約件数: 50件 出荷数: 4,393袋
	④ 農産物直売所を通じた 所得増大・生産拡大	1) 直売部会員の新規募集による部会組織の拡大	御食菜採館において、既部会員に呼びかけを行い、新規部会員の募集に努 めました。	部会員総数: 253名 R7年度新規部会員: 11名登録
		2) JAタウンの事業拡大と取扱強化による 販売チャネル多様化への対応	JAタウンの事業拡大取扱い強化として、全農兵庫、兵庫県、ハウス食品と連 携し「淡路島たまねぎまるごとカレー」、「淡路島産白菜を使用したカレー ・シチュー」のオリジナルレシピを直売所で配布しPRを行いました。	JAタウン取扱高 4,172千円 また、JAタウンにて「淡路島たまねぎ」と「X-BLEND CURRY」のセット を30セット販売
	⑤ 和牛の増頭対策と 経営支援	1) 優良後継牛の保留・導入への助成支援と 出荷雌牛に対するPCR検査支援	毎月の特徴検査において、自家保留牛を対象に準認定牛・準候補牛の認定 を行いました。 また、受検牛においても畜主が希望する雌牛に対し、牛伝染性リンパ腫 PCR検査を継続実施しました。	準候補158頭を認定 PCR検査 1,276頭
		2) 多様な担い手育成支援、組織集団活動の 活性化を図り、増頭対策および多頭化経営、 複合経営を促進	増頭・多頭化を計画する畜産農家に対し、肉用牛安定対策補完事業の助成 を利用した牛舎改造及び器具機材の導入を提案し、牛舎内外の構造等につ いて提案を行いました。	希望対象者なし
	⑥ 農産物の安全・安心への 取り組み	1) 残留農薬検査やHACCP(衛生管理の 国際的手法)に沿った衛生管理	残留農薬検査計画に基づき順次検査を行いました。また、HACCPに準じ た衛生管理を行うため直売所2カ所・卸売市場1市場の担当者が研修会を 受講しました。	残量農薬検体数 20検体 衛生管理研修会 8月5日
		2) 経済渉外によるGAP(生産工程管理)推進と 実践支援	各生産部会の研修会にて「よりよい営農活動」について説明し周知致しま した。	・たまねぎ部会: 5月19日 ・ピーマン部会: 6月27日 ・コ・ノ・ホ・シ栽培研修会: 7月9日 ・いちじく部会総会: 7月24日 ・洋菜部会生産者大会: 11月28日
(2) 地域農業の 持続的発展に 向けた取り組み	① 新規就農者等、多様な 担い手対策	1) 新規就農者確保に向け、行政と一体となった 支援	洲本市と淡路市主催の新規就農相談会に参加し、JAの事業説明や利用促 進を行いました。	洲本市 8回 参加者: 11名 淡路市 7回 参加者: 13名
		2) 定年帰農者向け農業経営モデルプランの設定	研修会開催は出来ていませんが、近年の価格高騰によりモデルプラン作成 のため農家への聞き取りを行いました。	主要作物17品目について聞き取りを実施
	② 人材の マッチング強化による 労働力確保	1) 関係機関と連携し、無料職業紹介事業による 農家と求職者の仲介	JA兵庫中央会・兵庫信連と連携しスマートフォンアプリを使った農家向け 人材サービスについて協議を行い、雇用者向け研修会を開催しました。	10月20日: JA兵庫中央会・信連と労働支援について協議 3月27日: デイワーク説明会を開催
		2) 連合会との連携による、生産基盤維持拡大に つなげる農業労働力支援	全農兵庫農業労働力支援室の労働力支援事業を活用し、はくさい収穫作業 を拡大、年末の需要期に向け、出荷数量の増大に繋げました。	件数: 12件(前年対比: 109%) 重量: 233 t(前年対比: 195.7%)
③ 集落営農の組織化 ・経営力強化支援	1) 普及センターとの連携による、計画的な 集落営農組織の法人化支援	行政・普及センターと連携し定期的に情報交換を行いました。	労働力支援(野菜育苗): 相原ファーム	
	2) 集落営農組織への経営支援	提案先をリスト化し営農相談員が定期的に訪問を行いました。	リスト件数: 洲本市60件 淡路市54件 訪問件数 91件(洲本市24件 淡路市67件)	
④ 生産部会組織の活性化	1) 部会組織の集約・再編による活性化	たまねぎ部会役員会を開催し、統一部会発足スケジュールと活動内容につ いて協議を行いました。	たまねぎ部会役員会開催 8月29日・1月27日 令和9年4月: 統一たまねぎ部会発足予定	
(3) 経済事業体制 ・機能の強化	① 営農・経済事業体制の 機能強化	1) 出向く体制による営農相談 ・情報提供体制の強化	営農相談員及び営農相談係が担い手訪問を行いました。 担い手サポートシステムを活用し訪問・相談・提案内容を記録することで 活動の見える化を行いました。	担い手営農サポートシステムの活用実績 リストアップ 洲本市60件 淡路市54件 訪問回数 洲本市667件 淡路市662件
		2) 各センター間連携による効率的な事業運営	統括経済センターが中心となり施設・時期・作業等に応じ応援を行いました。	センター窓口応援業務 20日 一宮経済センター 1日・五色経済センター 19日
	② 経済施設の機能再編と 物流体制の整備	1) 実態に応じた、物流・配送体制の再構築	佐川急便との協議・検討会の実施しました。	4月28日、8月5日、合計2回
③ 経済担当職員の 計画的な人材育成	2) 購買品のネット注文等、 ネット・ホームページの活用拡大	全農取扱い資材(肥料・農薬)について、購買受発注システムを五色経済セ ンターと北淡経済センターで7月1日より、全経済センターで10月1日 より運用開始しました。	購買受発注システム 令和7年10月1日運用開始 組合員情報提供サービス 令和8年1月5日運用開始	
		1) 人材育成計画による職員の技術的な スキルアップ	営農相談員・営農相談係を対象に内部研修会(税務研修会)を開催し、税務 知識の向上を図りました。	税務基礎研修 7月18日、8月22日、10月16日

活動状況



夏と冬開催の自動車・農機合同展示会



レンタル農機(野菜苗移植機)



農産物直売所「御食菜採館」



JA推奨の土づくり資材



労働力支援(はくさい収穫作業)



販売協力店舗の拡大(淡の春)



オリジナル品種「コ・ノ・ホ・シ」